

令和5年度 染織デザイン I シラバス

科目	染織デザインⅠ	単位	2	対象	2年 染織デザイン科
目 標	(1) 美術の基礎基本と造形表現。 (2) デザイン・工芸の基礎基本と造形表現。				
学習内容・他の科目との関連 (1) 鉛筆デッサンの基礎基本修得（幾何学形態他） (2) 平面構成・図柄文様・立体制作（アクリルガッシュ） ※ 専門教科の工芸分野は、大部分が「染め」と「織り」を扱っている。この教科は、他の専門教科の基礎基本となるよう、描画力の基礎基本を修得する。					
学習のワンポイント・アドバイス (1) デッサンでは、正確な空間把握により、形、比率、トーンのバランスについて学習理解を深める。特に、同一平面上における複数モチーフの正確な俯角を捉えさせたい。 (2) 平面構成では、パターン化できる図柄作成や、テーマ表現力を養う。 (3) 毎課題のまとめに、講評会を行い、互いに自他の作品の良さを見出す。					
〔評価の観点〕 ・知識・技能 工業技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・思考力・判断力・表現力 工業技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。 ・主体的に学習に取り組む態度 工業技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。					
〔評価の方法〕 次の(1)～(3)を上記〔評価の観点〕に照し合わせ、総合的に判断し評価する。 (1) 授業中の内容が理解できているか、積極的に取り組んでいるか。 (2) 課題やファイル等がきちんと提出されているか。 (3) 日々の授業態度等。					
使用する教科書、教材等 (1) 学習用資料（プリント） (2) その他					
進路との関わり (1) 主に芸術（美術）系進学希望者の為の大切な基礎知識・技術である。 (2) 染織系就職の為の基礎知識・技術として必要な内容である。					